

(単位:億円)

コンシューマー食品 合計	FY19 予想	FY18 実績	差額	FY18 9M実績	FY18 1H実績	FY18 1Q実績	FY17 実績	FY16 実績	対前年 増減要因または主要施策
売上高	8,716	8,567	148	6,472	4,143	2,034	8,488	8,194	<p>【日本食品】 調味料・加工食品は、家庭用は主要製品の拡売、業務用は顧客の課題解決への貢献により増収を見込む。 冷凍食品は、家庭用は「ギョーザ」シリーズ、米飯類を中心とした主力製品群の販促強化、業務用はデザート等の拡売により前年並みを見込む。 コーヒー類は、家庭用は一部製品の終売により前年を下回るも、業務用は取組み強化により、全体で前年並みを見込む。</p> <p>【海外食品】 調味料・加工食品は、前年の値上げ効果に加え、調味料の安定成長により増収を見込む。 冷凍食品は、アジア冷凍食品を継続拡大するも、アモイ・フード社売却影響および不採算アイテムの削減により減収を見込む。 加工用うま味調味料は、主に海外における販売拡大により増収、甘味料も増収を見込む。 (参考)FY19予想:加工用うま味調味料 521、FY18実績:加工用うま味調味料 514</p>
日本食品	3,812	3,750	61	2,866	1,809	881	3,841	3,904	
調味料・加工食品	1,974	1,910	64	1,457	909	439	1,902	1,917	
冷凍食品(日本)	969	973	▲3	741	493	238	1,008	987	
コーヒー類	867	876	▲9	674	406	203	930	999	
海外食品	4,904	4,816	87	3,606	2,334	1,152	4,647	4,289	
調味料・加工食品	3,085	2,989	96	2,229	1,454	722	2,931	2,653	
冷凍食品(海外)	1,133	1,153	▲19	868	544	266	1,062	984	
加工用うま味調味料・甘味料	683	674	9	508	335	164	652	652	
事業利益*1	752	722	29	588	350	160	803	825	
日本食品	286	298	▲12	256	124	53	388	408	<p>【日本食品】 調味料・加工食品は事業は堅調に伸長も、諸費用等の影響により減益を見込む。 冷凍食品は、家庭用・業務用の主力製品群の販売拡大、また、業務用製品の値上げ浸透により増益を見込む。 コーヒー類は、主に一部製品の終売影響により減益を見込む。</p> <p>【海外食品】 調味料・加工食品は増収により増益を見込む。 冷凍食品は構造改革により増益を見込む。 加工用うま味調味料は貿易為替影響等により減益を見込む。 (参考)▲3億円減益予想の内、加工用うま味調味料で▲3億円</p>
調味料・加工食品		325	▲約10	265	145	69	348	356	
冷凍食品(日本)		41	約10	31	18	4	78	84	
コーヒー類		50	▲約5	46	17	9	78	84	
全社共通費	▲126	▲119	▲7	▲86	▲57	▲30	▲116	▲116	
海外食品	466	423	42	331	225	106	414	417	
調味料・加工食品			41						
冷凍食品(海外)	24	12	11	5	▲5	▲8	23	54	
加工用うま味調味料・甘味料			▲3						
全社共通費	▲156	▲148	▲7	▲105	▲74	▲37	▲152	▲139	

アミノサイエンス 合計	FY19 予想	FY18 実績	差額	FY18 9M実績	FY18 1H実績	FY18 1Q実績	FY17 実績	FY16 実績	対前年 増減要因または主要施策
売上高	2,710	2,432	277	1,784	1,193	619	2,385	2,136	<p>【ライフサポート】 動物栄養は、販売数量増により増収を見込む。 化粧品は、電子材料事業の販売好調継続により増収を見込む。</p> <p>【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸は、販売数量増により増収を見込む。 製薬カスタムサービスは、欧米日の全ての地域で販売拡大により増収を見込む。 その他は、香粧品素材、スポーツニュートリション事業の伸長等により増収を見込む。</p>
ライフサポート	1,203	1,079	123	825	543	276	1,185	1,140	
動物栄養	826	726	99	557	372	191	870	784	
化粧品		327	約20	250	161	79	291	338	
その他		24	約5	17	9	5	23	18	
ヘルスケア	1,507	1,353	153	959	649	342	1,199	995	
アミノ酸		940	約110	641	434	237	792	712	
医薬用・食品用アミノ酸		約425		約305	約205	約110	約365	約355	
製薬カスタムサービス		約515		約335	約230	約130	約430	約355	
その他		412	約40	317	214	105	406	283	
事業利益*1	228	216	11	150	87	47	174	140	<p>【ライフサポート】 動物栄養は、増収による増益を見込む。 化粧品は、増収による増益を見込む。</p> <p>【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスともに、増収による増益を見込む。</p>
ライフサポート	98	95	2	76	49	28	80	44	
動物栄養	23	19	4	12	10	10	30	6	
化粧品		115	約5	91	58	27	94	84	
その他		▲6	▲約5	▲4	▲3	▲1	▲7	▲9	
全社共通費	▲31	▲32	0	▲22	▲15	▲8	▲36	▲36	
ヘルスケア	130	120	9	74	38	19	93	95	
アミノ酸		125	約25	78	46	24	90	105	
医薬用・食品用アミノ酸									
製薬カスタムサービス									
その他		40	▲約10	25	12	6	42	21	
全社共通費	▲50	▲44	▲6	▲29	▲20	▲11	▲38	▲30	

その他	FY19 予想	FY18 実績	差額	FY18 9M実績	FY18 1H実績	FY18 1Q実績	FY17 実績	FY16 実績	対前年 増減要因または主要施策
売上高	284	274	9	207	128	60	273	581	
事業利益*1	▲10	▲12	2	3	8	9	▲21	2	
全社共通費	▲23	▲26	2	▲18	▲12	▲6	▲22	▲32	

総合計	FY19 予想	FY18 実績	差額	FY18 9M実績	FY18 1H実績	FY18 1Q実績	FY17 実績	FY16 実績	対前年 増減要因または主要施策
売上高	11,710	11,274	435	8,464	5,464	2,714	11,147	10,911	
事業利益*1	970	926	43	742	445	217	956	968	

表示上の注意:  非開示
約** 概算値

*1 当社が経営管理のために独自に定義した利益指標
事業利益(連結ベース) = 売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

・本資料は、監査を受けていない参考値が含まれます。

・本資料の金額は、切り捨てで表示しております。